e-WOOL 防音パネル

D-15, D-20, D-30

施工仕様書

株式会社エービーシー商会
インサル事業部

e-WOOL 防音パネル D-15,D-20,D-30

1.e-WOOL 防音パネル仕様 1

2.注意事項 3

3.施工手順

①下地フレーム(別途工事) 3

②パネル固定 4

4.施工後の注意事項 8

e-WOOL 防音パネル用ドア

1.e-WOOL 防音パネル用ドア仕様 9

2.注意事項 9

3.施工手順

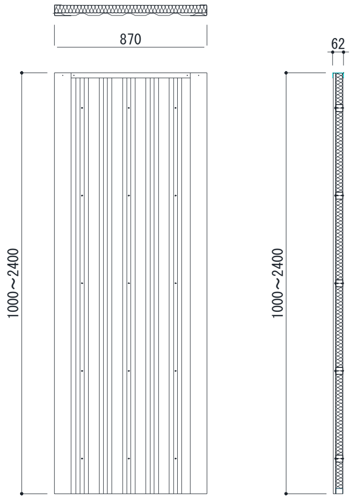
①ドア枠固定用胴縁(別途工事) 10

②ドア固定 11

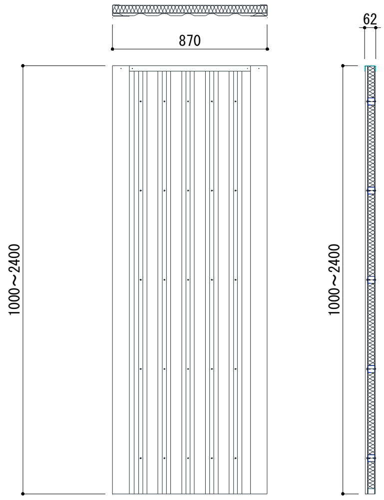
4.ドアの仕上げ施工について 13

1.e-WOOL 防音パネル仕様

D-15 標準仕様

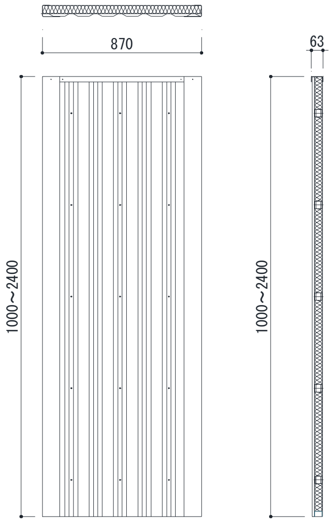


D-15 高強度仕様

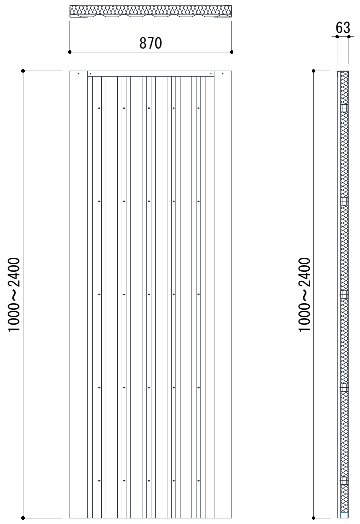


名称	材質	寸法
パネル枠(上枠・縦枠・下枠)	高耐食溶融メッキ鋼板	t=1.2
角波折板	ガルバリウム鋼板	t=0.5
パンチングメタル	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=0.6
e-WOOL	ポリエステル繊維	t=40/密度30±1kg/m3)
補強フレーム	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=1.2
専用取付金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=3.2
専用コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=1.2
リベット(パネル枠部)	SUS	φ4 皿頭
リベット(パネル横部)	アルミ	φ4 皿頭
ドリルビス(角波折板側)	SUS	4×16
パッキン付座金	SUS＋EPDM(エチレンプロピレンゴム)	3.5×12(t×d)
ドリルビス(パンチングメタル側)	SUS	4×13
ドリルビス(専用金具取付用)	鉄(ネジ部)＋SUS(キャップ部)＋EPDM(パッキン部)	六角頭 5×19

D-20 標準仕様

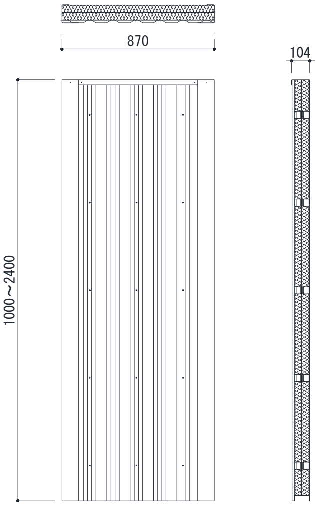


D-20 高強度仕様

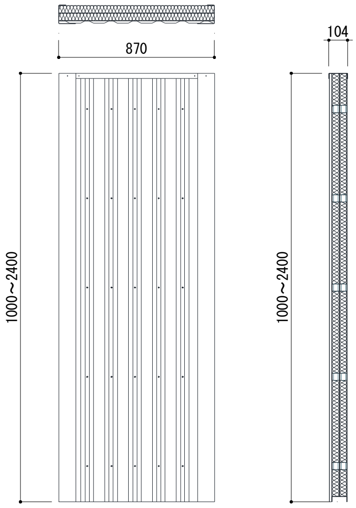


名称	材質	寸法
パネル枠(上枠・縦枠・下枠)	高耐食溶融メッキ鋼板	t=1.2
角波折板	ガルバリウム鋼板	t=0.5
パンチングメタル	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=0.6
e-WOOL	ポリエステル繊維	t=40/密度30±1kg/m3)
e・ライン	溶融亜鉛メッキ鋼板/スチレンブタジエンゴム	鋼板(t=0.8)/ゴム(t=40)
e・マット	改質アスファルト高比重鉱物質＋ポリエステル不織布	t=1.2
専用取付金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=3.2
専用コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=1.2
リベット(パネル枠部)	SUS	φ4 皿頭
リベット(パネル横部)	アルミ	φ4 皿頭
ドリルビス(角波折板側)	SUS	4×16
パッキン付座金	SUS＋EPDM(エチレンプロピレンゴム)	3.5×12(t×d)
ドリルビス(パンチングメタル側)	SUS	4×13
ドリルビス(専用金具取付用)	鉄(ネジ部)＋SUS(キャップ部)＋EPDM(パッキン部)	六角頭 5×19

D-30 標準仕様

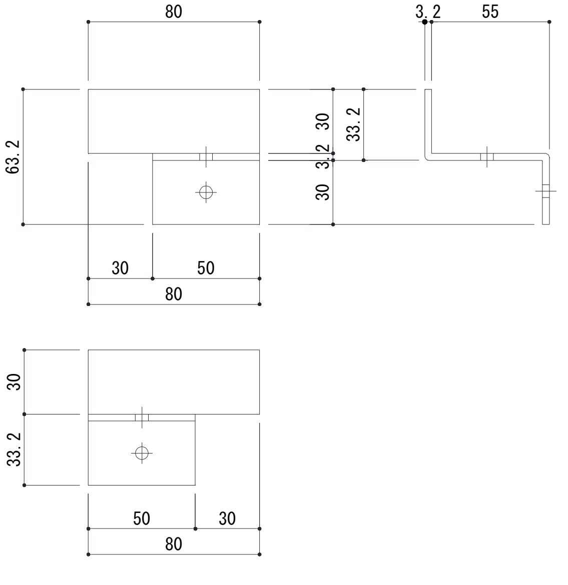


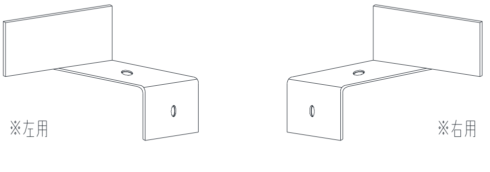
D-30 高強度仕様



名称	材質	寸法
パネル枠(上枠・縦枠・下枠)	高耐食溶融メッキ鋼板	t=1.2
角波折板	ガルバリウム鋼板	t=0.5
パンチングメタル	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=0.6
e-WOOL	ポリエステル繊維	t=40/密度30±1kg/m3)
e・ライン	溶融亜鉛メッキ鋼板/スチレンブタジエンゴム	鋼板(t=0.8)/ゴム(t=40)
e・マット	改質アスファルト高比重鉱物質＋ポリエステル不織布	t=1.2
ガルバリウム鋼板(平板)	ガルバリウム鋼板	t=0.35
専用取付金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=3.2
専用コーナー金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	t=1.2
リベット(パネル枠部)	SUS	φ4 皿頭
リベット(パネル横部)	アルミ	φ4 皿頭
ドリルビス(角波折板側)	SUS	4×16
パッキン付座金	SUS＋EPDM(エチレンプロピレンゴム)	3.5×12(t×d)
ドリルビス(パンチングメタル側)	SUS	4×13
ドリルビス(専用金具取付用)	鉄(ネジ部)＋SUS(キャップ部)＋EPDM(パッキン部)	六角頭 5×19

専用取付金具





2.注意事項

●設置には鉄骨支柱および胴縁(共に別途工事)が必要になります。

●製品は車上渡しとなるため、荷揚げに必要な重機などは現場でご用意ください。

●パネル枠の高耐食メッキ鋼板は時間経過により表面が部分的に黒く変色することがあります。

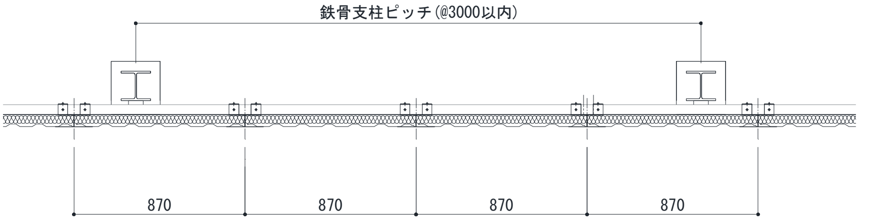
3.取付用鉄骨下地フレーム(別途工事)

支柱ピッチ：3000mm 以内(芯々)

胴縁ピッチ：750mm 以内(芯々)

標準胴縁部材：□50×50×2.3

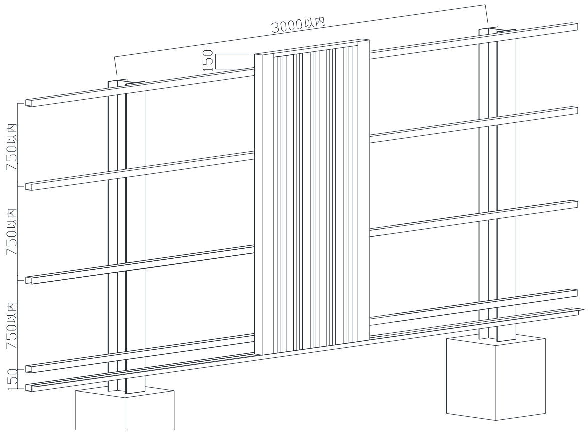
支柱



・鉄骨は 3,000mm 以内で設置してください。

・ピッチは設計耐風圧などを行ない、検討してください。

胴縁



・パネルの最下部にはパネル受下地が必要になりますので、必ず設置してください。
(4 ページの各部位標準納まりの下部をご参照ください)

・胴縁ピッチは 750mm 以内、パネルの上部、下部は 150mm 以内で設置してください。

・ピッチは設計耐風圧などを行ない、検討してください。

支柱胴縁設計時注意事項

●防音パネル取付専用金具の寸法が 50mm のため、取付金具を取り付ける胴縁部は必ず 50mm のものをご使用ください。(寸法が変わる場合、別途特注金具代がかかります)

●上記記載ピッチは最大寸法であり、支柱ピッチ、胴縁ピッチは必ず耐風圧強度計算を行ない算定してください。

●支柱サイズや基礎の選定、設計は構造設計を行ない、算定してください。

4.e-WOOL 防音パネル施工手順

使用部材、工具

ビス

ビット

インパクトドライバー

標準取付施工手順

開梱

1.仮固定

2.固定

3.コーナーパネル設置

施工手順

1.開梱

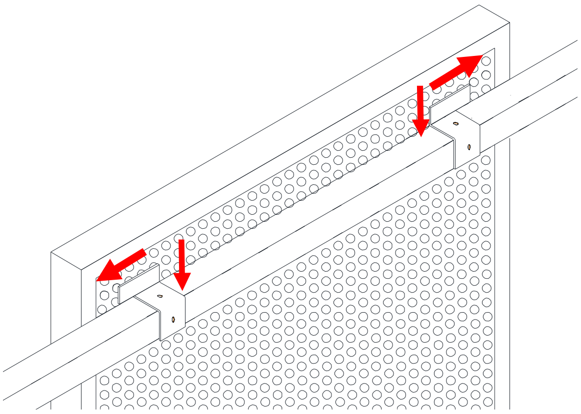
①パレットに積まれた材料の梱包をとく

パレット材質：段ボール

②e-WOOL 防音パネルのサイズを確認

（設置個所によりサイズが違う場合）

2.仮固定



①パネルを施工箇所に運ぶ

仕様別重量

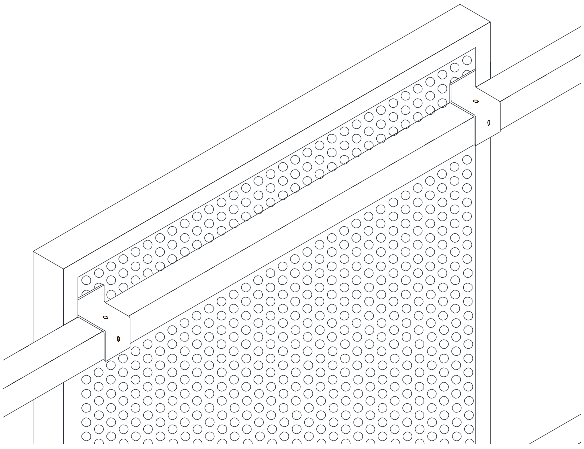
仕様	重量
D-15	18kg/m^2
D-20	18kg/m^2
D-30	26kg/m^2

②専用取付金具を e-WOOL 防音パネルの枠に差し込む※

※この時点ではまだ固定しなくてもよい

③パネルを並べていき、水平を取る

2 段以上段積みする場合は、1 段目を仮固定し、3 の固定を行なってから 2 段目の施工を始めてください



仮固定後

3.固定

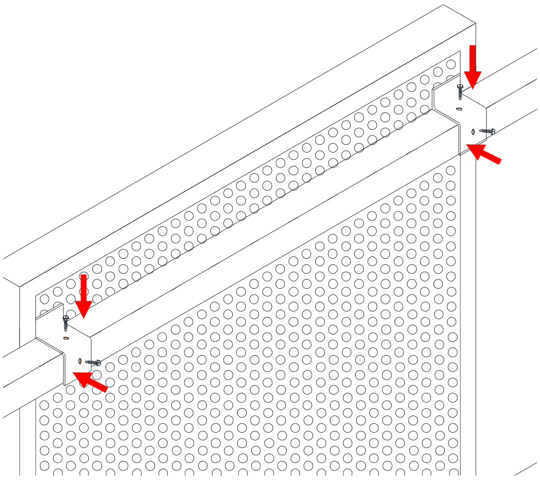
①専用取付金具の 2 箇所を付属の専用ビス※で固定

※使用ビス

・M5×19　六角頭ドリルビス

下地の不陸などによりパネル間で隙間ができる場合はコーナー部で調整してください

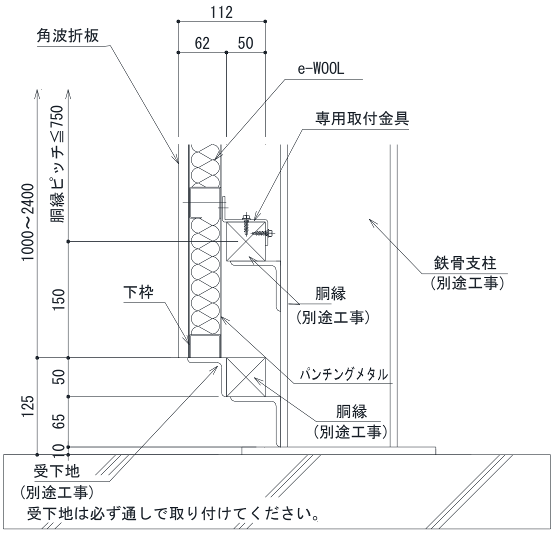
（コーナーパネルで隠れます）



各部位標準納まり

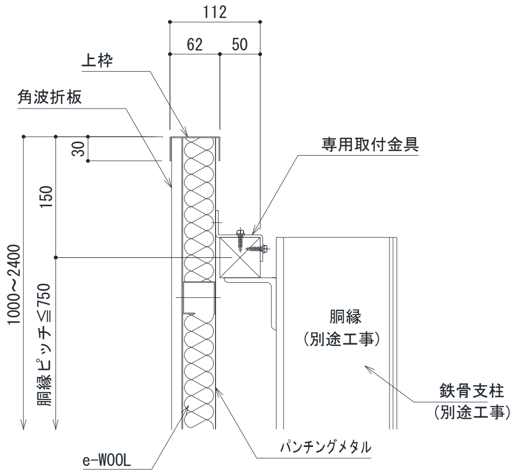
下部

・パネル下部には受下地※を設置してください。（別途工事）
※受下地は必ず通しで設置してください。
・1 段目の胴縁はパネル下端から 150mm の位置に設置してください。（別途工事）



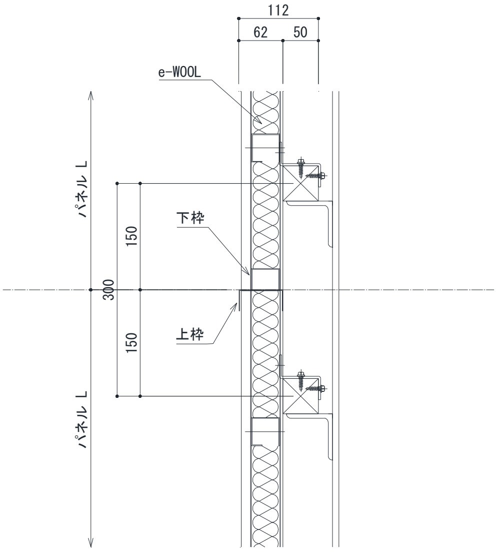
上部

・1 枚当たりの最上部の胴縁はパネル天端より 150mm の位置に設置してください。
（別途工事）



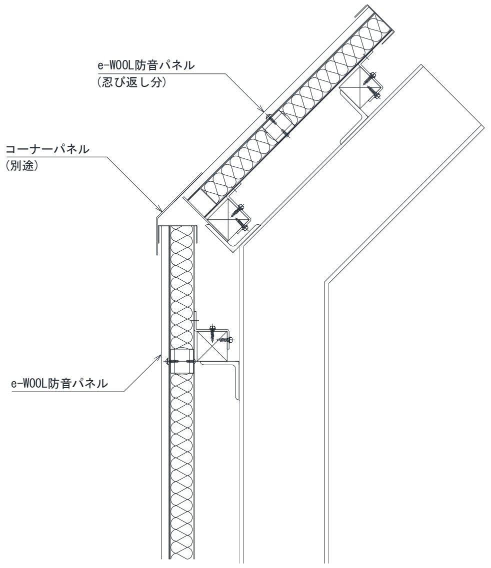
段積み

・2 段以上積んで施工する場合は、下の段を設置後、下のパネルに載せて設置してください。
・その際に下段パネル天端から下に 150mm の位置に、上段パネルの下端から 150mm の位置に胴縁を設置してください。（別途工事）



忍び返し

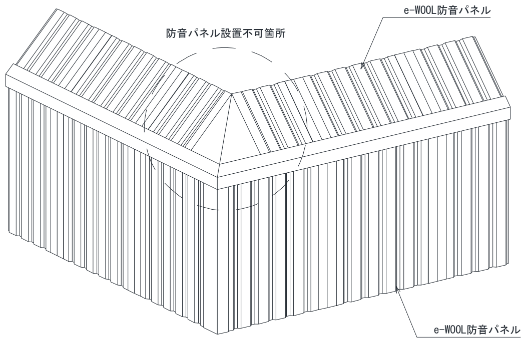
・忍び返し設置用の支柱をご用意ください。（別途工事）
・忍び返し部のパネルの下部に受下地を設置してください。
・垂直部パネルとのコーナー部には、現場にて鋼板を曲げてそれぞれの枠部にビス固定してください。

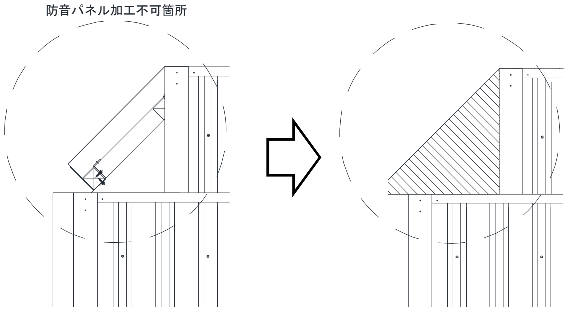


忍び返しコーナー部

e-WOOL 防音パネルは斜めカットで製造ができないため、忍び返しのコーナー部は以下の方法で割付をお願いします。

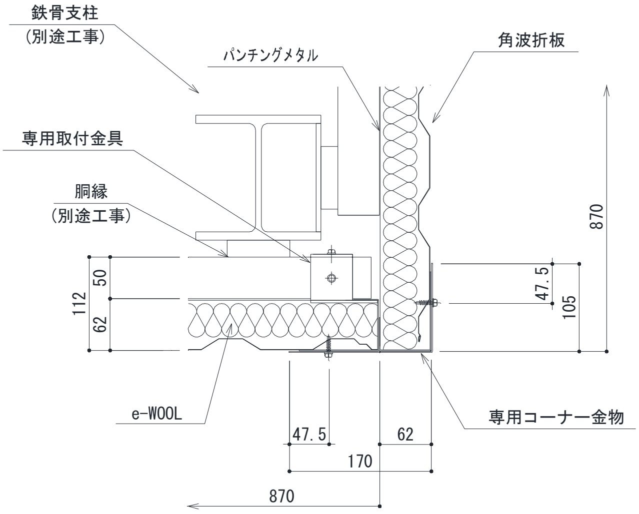
・現場にて鋼板を加工し、隙間になっている箇所を埋める
・隙間が大きい場合には、後半の間に吸音材を充填してください

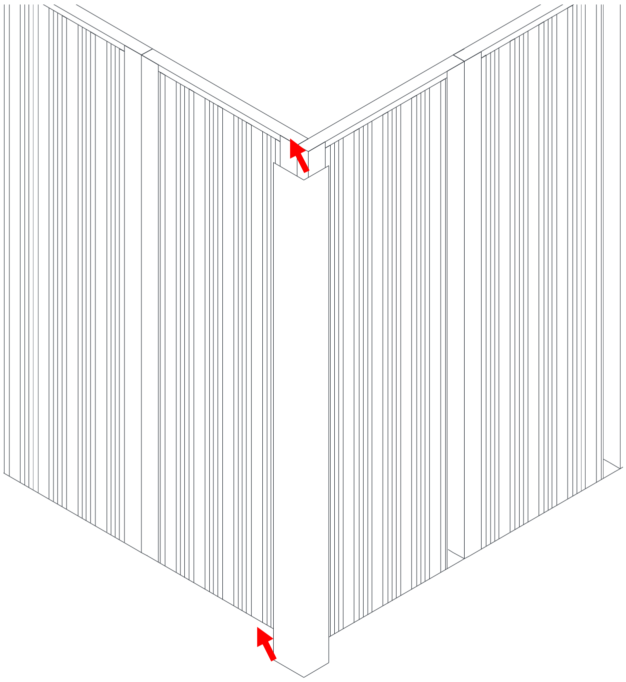


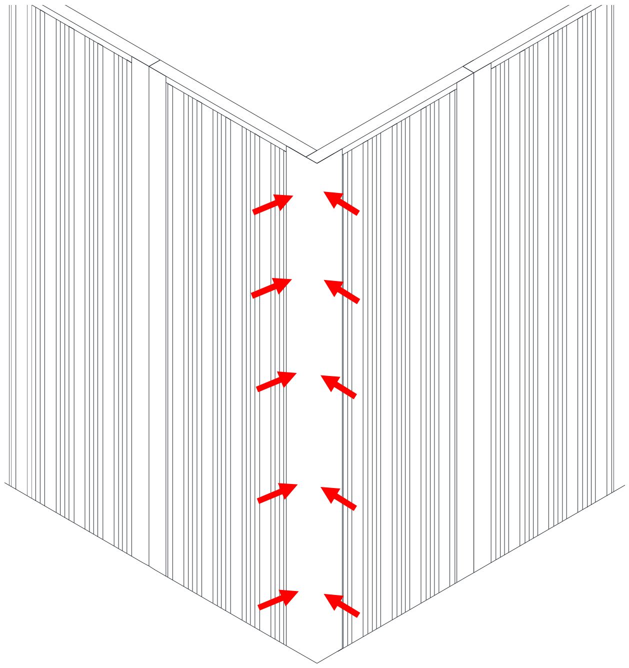


4.コーナーパネル設置

e-WOOL 防音パネルをすべて固定した後、コーナーパネルを設置
- 固定方法：ビス固定
- 使用ビス：M5×19
- 取付位置：角波折板水平位置







コーナーパネルを所定の位置に持っていく　　防音パネルの角波折板ビスの水平位置に固定する

出荷時にはコーナーパネルに下穴は開いていません。

5.施工後の注意事項

●現場でのガルバリウム鋼板の傷については付属のタッチアップ用塗料を使用し補修してください。

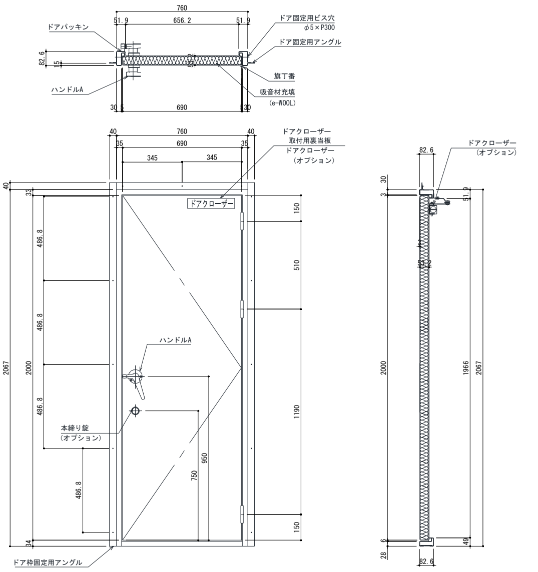
●取付時に発生する切り粉はすべて払ってください。

●防音パネル間に隙間が生じる場合はシーリング(別途工事)で隙間を埋めてください。

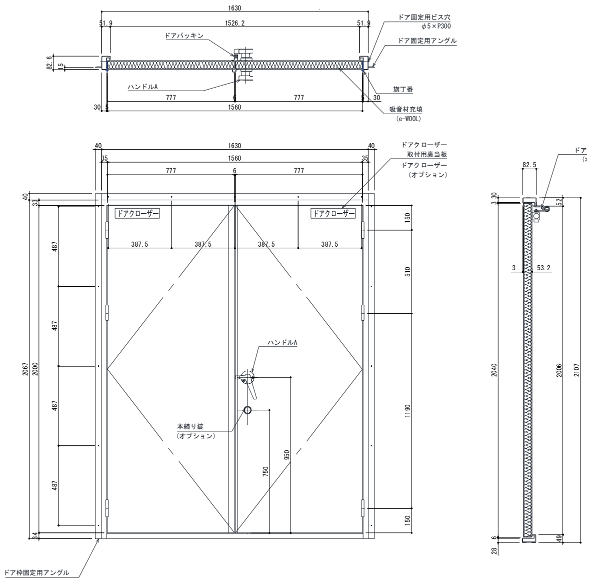
●切り粉が出た場合は必ず除去してください。

e-WOOL 防音パネル用ドア仕様

片開き扉



両開き扉



2.注意事項

●ドアや付属金物(ハンドルやドアクローザー等)にぶら下がったり、無理に荷重をかけないでください。
ドアや金物の破損、落下による事故やけがにつながるおそれがあります。

●ドアの開閉は正しく、静かに行ない、ドアに指をはさまないように注意してください。

●ストーブ等の熱源を近づけたり、直接熱風をあてないでください。
ドアや金物の形状変化による性能低下、ドア仕上(塗装屋シート仕上等)の劣化につながる場合があります。

●不測の丁番や金物はドアの経年の使用によりネジがゆるむ場合があります。
ゆるんだ場合は十字ドライバー等でしっかり締めこんでください。

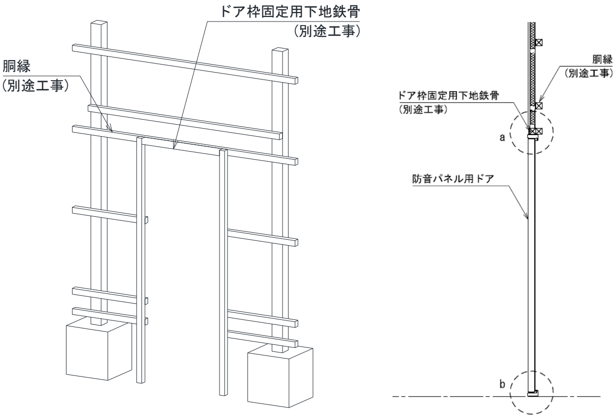
3.施工手順

①ドア枠固定用胴縁の設置(別途工事)

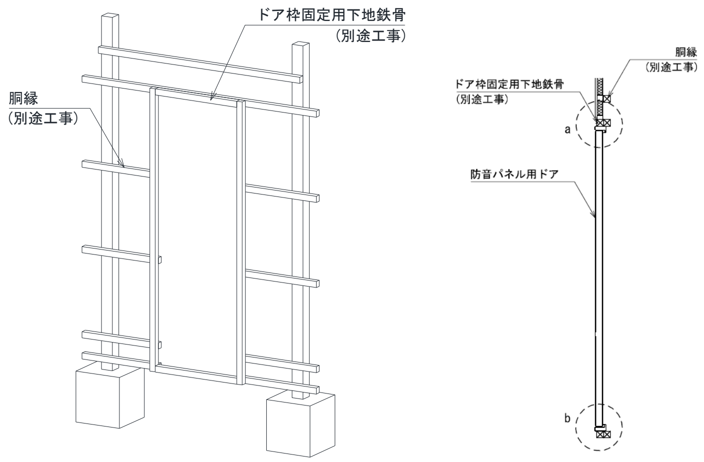
現場の状況に合わせて、ドア枠を固定するための胴縁を設置(別途工事)

以下は参考図になります。

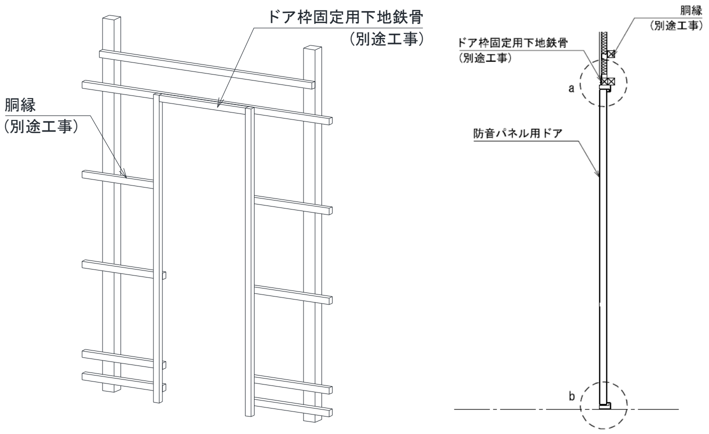
RFL や GL 等とドア枠を接して設置(独立基礎時)



胴縁等の上にドアを設置時

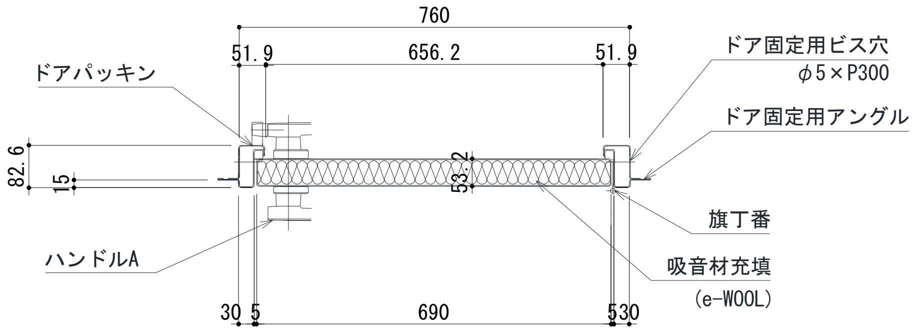


RFL や GL 等とドア枠を接して設置(支持アンカー固定時)



②ドア固定

防音パネル用ドア断面図

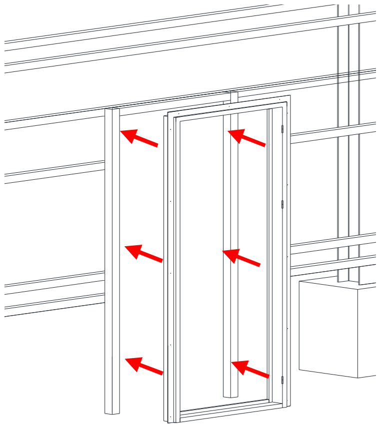


ドア固定仕様

1.ドア枠を枠内にはめ込む

①扉を扉枠から外す

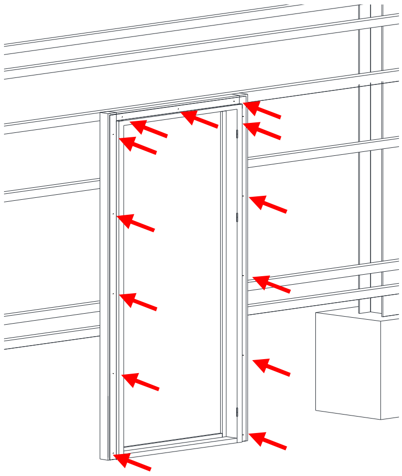
②設置されたドア枠固定用胴縁の位置側に、
　ドア枠をはめ込む



2. 胴縁に固定

①扉枠固定用アングルとドア枠固定用下地
　鉄骨をビス※固定
　　※使用ビス
　　　　M5×19

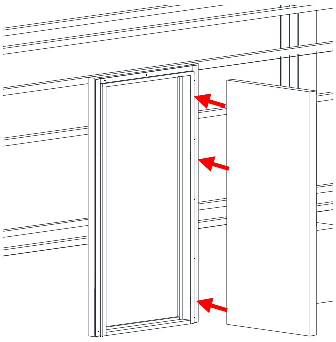
　固定位置は扉枠固定用アングルに穴があい
　ています。

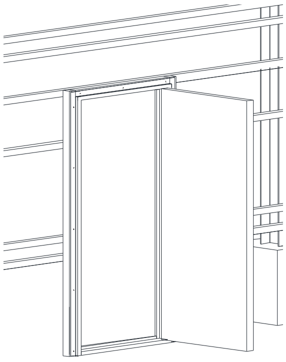


3.扉を丁番に差し込む

①枠固定時に取り外していた扉部分を
丁番に差し込む

・差し込む際はゆっくりと差し込んでください。急激に落として差し込むと丁番・ビスが破損する可能性があります。
・扉自体が重いので必ず 2 名以上でとりつけてください。

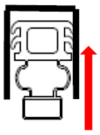




差し込み後

4.パッキンの取り付け

①付属のパッキンを枠のパッキン用溝に
押し込んで取り付ける



・パッキンのヒダが見えなくなる
まで押し込んでください
→パッキンをきちんと押し込まないとドア
の開閉不良につながります。
・パッキンの方向：斜辺が扉本体側に向くように取付

5.ハンドルの取り付け

①ハンドル先端部を取り付ける
②先端部分にある凹みをビス方向に向けて挿入し、イモネジを付属の六角レンチで固定

先端部脱落防止のため、ネジ緩み止め剤を施すことを推奨します。

③ハンドル取付箇所に芯棒をさし、ハンドルを両方向からハンドル本体固定用六角頭ネジで固定

必要に応じて付属のスペーサーをご使用ください

4.ドアの仕上げ施工について

・本製品の塗装は下塗りの錆止め塗装になります。
　現場にて仕上の塗装工事を行なってください。
・錆止め塗装のままご使用になられても防音性能に影響はありません。
・付属の丁番や金物を仕上げ工事で取り外した場合は復旧時に必ず十字ドライバー等でしっかり
　締めこんでください。
　その際はネジ緩み止め剤を施すことを推奨いたします。※
　※ネジの緩んだままでのご使用はドアの形状変化や性能低下の要因になりますのでご注意ください。